

令和 7 年 11 月 吉野町教育委員会定例会 議事録

日 時： 令和 7 年 11 月 19 日（水） 午後 3 時 00 分～

場 所： 町中央公民館 4F 教育長室

出席者： 教育長 教育委員 3 名 事務局 4 名

1. 開会挨拶（土居教育長）

2. 審議案件

議第 1 号 吉野さくら学園体育館空調設備について

【資料 1】

【資料により事務局より説明後、次の議論がなされた】

【委 員】空調工事には断熱改修も含まれているのか。

【事務局】断熱改修工事は含まれていない。

【委 員】空調設備は、ガスを使用するのか。

【事務局】電気だとキュービクル等の設置も必要となり、イニシャルコストが高い。

【委 員】ランニングコストは考えているのか。

【事務局】電気とガスを比較し、大差がないと考えている。

【教育長】体育館の空調と LED を考えている。避難所としても重要である。

【委 員】空調工事に補助金を充てることができるのか。

【事務局】臨時交付金や過疎債等、選択肢があるが、今回は過疎債対応で考えている。

【委 員】ガス式とはどういう意味か。プロパンガスは電気に比べ割高と認識しているが。

【事務局】ガスを動力源とする冷暖房システムである。さくら学園校舎もガス式空調である。学校関係ではガス式が主流であり、ランニングコストも電気と同じレベルである。

【委 員】災害発生の報道では、避難所での低体温症が問題になっていた。停電してもガス空調は使用できるのか。

【教育長】石油ファンヒーターをイメージすると、少しの電力を必要としている。ガス式も少しの電力が必要となり、停電時は使用できない。

【委 員】年間の燃料費はどの程度なのか。

【事務局】新しく設置のガス空調設備分は手元に資料がないので正確にはお答えできない。

【議論の後、全会一致で承認】

議第 2 号 非公開議案

【資料 2】

議第 3 号 よしのこども園教職員の人事方針について

【資料 5】

【資料により教育長より説明後、次の議論がなされた】

【委 員】「保育教諭、保育士又は幼稚園教諭として十五年以上の経験を有すること。」とあるが、15 年以上は全国的な基準なのか。

【教育長】様々なパターンがあり、画一的ではない。

【委員】小中学校の校長先生が、こども園に勤務経験がなくても園長として勤務できるのか。わかば幼稚園ではそのような例もあった。

【教育長】委員のご意見を反映させるよう規則の文言を整える。

【委員】吉野町と同じように明日香村や下市町等、近隣の町村も一園しかないのか。複数の園があると認識している。

【教育長】人事交流に関しての考え方は私立の施設を想定していない。公立のみである。人事交流に関する協定を近隣市町村と結んでいるのは、教育委員会管轄の施設設置町村であるからであり、首長部局管轄の市町村とは、教育委員会との協定を結ぶことが難しい面があり、協定を結んでいない。私学も首長部局管轄になっている。

【議論の後、全会一致で承認】

3. 報告案件

報第1号 令和7年度吉野町こども議会について

【資料3】

【資料により事務局から説明後、次の意見が出された】

【委員】子ども議員の一般質問は良いポイントを指摘している。まさに、町の課題と合致している。

【教育長】吉野町の第五次総合計画も参考にして学習をすすめている。町としても、子ども議員の提案を少しでも実現するよう前向きに取り組んでいただいている。

【次第にはないが、下記の報告があった】

【スポーツ振興室】

- ・本日、第85回国民スポーツ大会中央競技団体正規視察を受け入れについて

4. その他事項

・吉野町地域学校園協働活動について

【資料4】

【資料により事務局から説明後、次の意見が出された】

【委員】CS、パートナーシップ事業、下校の見守りサポート等、名称も様々な変化してきた。「地域で学校を守る」ねらいは大変理解しやすい。学校が地域になくなり「さみしい」と感じている高齢者の方々の声をよく耳にする。町が一つになって、CSで子どもたちを守り、育てていく趣旨は理解ができ賛成である。組織が多すぎて、どこまでが行政で、どこから自分たちでやるべきことなのか、様々な機会の説明をきいたが理解が難しい。これの取組は感覚的なことがらだと実感している。目指すことは、町内の子どもたちのために、できることをやること、豊かな体験を提供すること等、我々大人が子どもたちに伝えていくことが大切であり、日々実践していることである。

【事務局】取組や行事には、法律に基づいたものや、地域と行政の協働作業を伴うもの、様々なもの。行政と地域の皆さんが役割分担までたどりつくともっと感がある。しかし、様々なアイデアを出し合い、拡散から収束までそのプロセスに事務局が伴走することが今回の旧吉野北小でのイベントでは不十分であったと反省している面もある。任意の事業でない公的予算を伴う事業を、自由な発想で、行政と地域住民が一緒になっ

てプログラムを作っていく。一緒に走りながら考えていく好事例として「よしのこども人形創作ワークショップ～ふるさとの民話をもとに一緒につくる人形劇～」を今年度実施できたことは、今後につながると考える。

【委員】普段から自分たちだけで実施の活動に教育委員会が少し関わってもらったことで、より充実することがある。カンブリアお話の会の取組に、吉野町の後援があれば、安全マークをいただいたようなこととなっている。一部の方々の意見が反映されたものから、より多くの皆さんの意見やアイデアをすくい上げ、よりよいものになっている。例えば、不登校傾向の子どもさんも、保護者や我々関係者と連携して、行事に参加してくれている。この成長を、学校へつなげれば素晴らしい事だと考える。これが、CSの成果のひとつであれば嬉しい。

5. 閉 会 挨拶（松谷教育長職務代理）

次回開催予定	日 時	令和7年 12月 18日（木） 午後 2時 00分～
	場 所	町中央公民館 4F 教育長室